



# 朝日庄内の風

( 令和 4 年 度 上 半 期 総 集 編 )

**第 28 号**  
**令和 4 年 11 月 21 日 発行**  
 朝日庄内森林生態系保全センター  
 〒997-0404  
 山形県鶴岡市下名川字落合3  
 TEL: 0235-58-1730  
 FAX: 0235-58-1731  
 E-mail: [t\\_syounai\\_f@maff.go.jp](mailto:t_syounai_f@maff.go.jp)

HPは下記QRコードへ



## スノーモービル乗り入れ規制パトロール

月山周辺域へのスノーモービルの乗り入れは、自主ルール「月山特別ルール」に則り、国立公園特別保護地区、森林生態系保護地区への乗り入れ禁止、乗り入れ地点の限定、樹木の損傷禁止等自然環境の保護等を行いつつ利用しています。

ルール、マナーの遵守状況、鳥獣、自然環境への影響の有無等を確認するため、関係機関と連携しながらパトロールを行っています。

今シーズンは積雪が多かったですが雪解けも早かったこともあり、3月26日、4月12日、21日に合同及びセンター単独でのパトロールを行いました。

樹木の損傷、乗り入れ自粛区域への乗り入れ等の問題行為は、確認されませんでした。



3月21日入山式



3月26日時点の積雪状況



3月26日合同パトロール

## 朝日自然塾 みんなで歩こうタキタロウへの道(大鳥池登山)

令和4年7月7日(木) 鶴岡市立あさひ小学校の大鳥自然教室として5年生児童25名、教職員3名、スタッフ16名、総勢44名で実施しました。

例年、泡滝～大鳥池までを登山していましたが、セツ滝沢吊り橋損壊により通行不可となり、急遽、六十里越街道へコース変更し実施しました。

出羽三山の自然を守る会の講師より安全に登山するためのお話、体操のあと、児童達の元気に釣られて天気も良好でした。

コース全線がほぼ上りの六十里越街道を蟻腰坂～細越峠～ザンゲ坂などのいくつかの難所を通り、お互い励まし合って、湯殿山神社鳥居を目指します。

蟻腰坂の急坂を上り、弘法茶屋跡や国道112号線のスノーシェッド上部を通り、ラフラスナ、千手スナを見て、小揺抜、大揺抜を通過して屋の休憩地点細越峠でお昼ごはんです。

昼食後ゴールの鳥居までは、下る箇所や橋もあり、登るとき以上に慎重にいきます。

バスの待つ湯殿山神社駐車場に戻ってきたときには、さすがにみんなお疲れの様子でした。

今日のこの一日で、自然の楽しさ、厳しさ、そしてその働きなど、普段の教室では学べないことを、感じ取ってくれたら幸いです。

最後に、急なコース変更に御対応いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。



登山前の安全に関するお話



山船頭の会員から説明を聞いています



昼食の様子を360°カメラで撮影してみました!



鳥居前で記念撮影!

## 鶴岡市あさひ小学校5年生が区民館更新補助作業を実施

7月8日(金)鶴岡市あさひ小学校5年生 25 名が、朝日山地森林生態系保護地域内(保全利用地区)でスギ人工林から天然生林へ誘導するための補助作業として、スギ林の森林整備を行いました。

「朝日の豊かな自然や文化に親しむ」等を狙いとして、あさひ小学校では森林生態系保護地域で森林保全活動を行っています。

6月23日には、前出の登山の説明とともに森林・森林の働きや森林の整備について事前学習を行いました。

当センター職員が、作業前に森林整備の必要性、作業手順、安全に作業するための注意事項を説明を行い、立木を手鋸で伐倒するので、いつも以上に集中力が必要なことから、児童達は真剣に聞いていました。

庄内森林管理署からも応援をいただき、4班編制で各班1本除伐します。受け口作りから始めますが、斜めの線と水平の線を一致させることに苦勞しました。

挽いても挽いてもなかなか倒れません。

体力の限界に達したら交代しながら、遂に伐倒、小さな木ですが、木が倒れる時の音、迫力にちょっとビックリします。

林床に光いを当て、実生による更新や稚樹が成長しやすいように、枝を払い、幹を玉切りしました。伐倒木の小片は自分や家族へのお土産となりますが、コースターを取る子や枝付きの部分を取る子など様々です。

鶴岡市朝日地区は森林率が高い地区ですが、普段暮らしている場所の上流にある森林で、作業を行ったことは、自分達が暮らしている地域を知るよい機会になったことと思います。



作業前の安全について



作業の指導中



児童達による森林整備風景



誘因捕殺剤の説明



輪切りに挑戦！

# 朝日自然塾フロが教えるイワナ釣り

朝日自然塾「フロが教えるイワナ釣り」は、7月23日(土)に鶴岡市大島の東大島川で、8組20名が参加してくれました。受付で事前をお願いしていた当日の体温など感染症拡大防止のためのチェックシートを記入してもらい釣りのスタートです。

山形県溪流釣り協議会会長より、安全に楽しく溪流釣りを行うためのお話の後、雨の降る中、4班に分かれ溪流釣り開始です。

当日は、雨の降る中、元気いっぱいに参加してくださいました。溪流釣りの次は、釣り堀池に移動して、イワナ・ニジマス釣りに挑戦。

思いのほか強い竿の引きに、歓声を上げながら、釣り上げます。釣った魚は、講師の指導を受け自分達で上手に捌きます。

お昼時には、スタッフが汗だくになりながら、焼いたイワナの炭火焼きを口いっぱいほおぼっていました。

おいしいと毎年大好評です。

午後は、密にならないように、注意しながら、世界で一つのオリジナル毛針作り等を楽しみました。

世界に一つだけの毛針作りは、講師がいかにしてイワナを上手にだますか、水生昆虫や陸生昆虫の生態、イワナの習性等の話をお聞きしながら、マンツーマンで作っていきます。

その後、「イワナに関するおきの話」として貴重な体験談やイワナと森林の関係などを講師から教わり、イベントを終了しました。

あいにくの雨により、溪流釣りでは釣果のなかった人もいましたが、コロナ禍の中、それぞれに野外活動を楽しまれたようです。

今回の自然塾では、山形県溪流釣り協議会、鶴岡市朝日庁舎及び庄内森林管理署の皆さんに、ご協力いただき大変ありがとうございました。



開会式の様子



大物が釣れるかな?



上手に捌いています



イワナ炭火焼き



世界に一つだけの毛針を作ります



釣り堀ので様子



最後に集合写真  
野外で楽しく過ごせました

## 山形大学学生と試験地の植生調査

当センターでは、朝日山地森林生態系保護地域保全利用区域内にあるスギ人工林を針広混交林に誘導する取組を実施しています。

10月13日に山形大学農学部菊池准教授並びに学生6名の協力を得て、植生調査を実施しました。

調査は、天然生林に誘導するために必要・効果的な作業を検証するため、下刈・つる切り・除伐の有無による広葉樹の成長(樹高、胸高直径)・枯損、樹種・生活型の変化(被度)を記録しています。

また、周辺から山取りし、植栽した広葉樹稚樹の生存状況を記録しています。

現段階では、設定後の期間が短いため、作業種の違いによる大きな変化は見られていませんが、今後も推移を継続調査していきます。



低木の樹種の同定が難しい



大きくなってきた広葉樹のサイズを計測中

## オオハンゴンソウの除去作業

オオハンゴンソウは、「生態系、人の生命もしくは身体または農林水産業に被害を及ぼす外来種」である特定外来生物に指定されています。

大量の休眠種子による土壌シードバンクの形成や地下茎からの茎の叢生により強い繁殖力があり、駆除が困難で他種を駆逐し、優占してしまい在来植物に大きな影響を与えています。

保全利用区域の林道沿いの空き地に限定的に生育しており、平成30年度より除去作業を行っています。

令和2年度までは、花期前の7月下旬に猛暑の中除去していましたが、再生数も多く、より効果を高めるため、3年度に続いて栄養を十分に蓄積する前と思われる5月28日に除去しました。



オオハンゴンソウ除去作業中



除去したオオハンゴンソウ

## 朝日山地森林生態系保護合同パトロール

令和4年9月17日(土)及び10月8日(土)に、朝日山地森林生態系保護地域において、山形県山岳連盟、山形県溪流釣り協議会、環境省羽黒自然保護官事務所、庄内森林管理署及び置賜森林管理署の関係機関と連携して合同パトロールを実施しました。

今回の合同パトロールにおいては、高山植物の採掘跡、たき火跡及び樹木の伐採などの異常は見られませんでした。引き続き朝日山地の生態系の保全に取り組んでまいります。



9月17日合同パトロール(日暮沢)



10月8日合同パトロール(祝瓶山)